



障害者と雇用

発行 平成23年3月

◎障害者雇用をお考えの事業主、企業の皆様へ

障害のある方の就労支援のために様々な取り組みが行われています。今回は事業主、企業の皆様が安心して障害者雇用を進めていただくための取り組みをご紹介します。ご紹介させていただくのは『第1号職場適応援助者（ジョブコーチ）』による支援についてです。

ジョブコーチとは・・・

事業主、企業の皆様が障害者雇用を考えた場合、様々な悩みや不安が出てくると思います。また、就労を希望する多くの障害のある方とその家族も不安を抱えています。

【事業主、企業の方の不安】	【障害のある方・家族の不安】
ずっと付いて教えなければいけないのでは？	仕事を覚えられるかな？
どのような接し方をすれば良いかわからない	上手くコミュニケーションをとれるかな？
どんな仕事ができるかわからない	誰に相談すれば良いのかな？
そもそも障害に対する知識がない	私の事（障害の特性）を上手く伝えられるかな？
怪我をする危険性が高いのでは？	長く続けることはできるかな？

※実際に相談のあった事例の一部です。

ジョブコーチはこのような不安を解決するために、障害のある方と一緒に職場に入り、**一人で作業が出来るように支援を行います。**

【ジョブコーチ支援のポイント】

◎一人で作業が出来るように支援します。

- ・少しずつ支援の主体を職場の方に移行していき、職場内での上司や同僚からの支援が適切に行われるようになった段階で支援を終了します。

◎雇用の前後を問わず、必要なタイミングで支援します。

- ・就業時だけでなく、配置転換や人事異動といった職場環境の変化などにより職場適応上の問題が生じた時など。

◎支援をするのは障害のある方だけではありません。

- ・事業主や職場の上司、同僚などに対しても障害のある方が職場適応していくのに必要な助言を行います。

◎支援を受けるための費用は無料です。



こんな声に応えました！

～ジョブコーチ支援の活用事例～



『ずっと付いて教えなければいけないのでは？』

『仕事を覚えられるかな？』

・現場の方から仕事の指示を受け、その内容を本人の理解度に合わせて指示をしていきます。『誰かをつけておかないと』『ずっと見ていないといけない』を『時々見に来ればいい』に変えることは可能です。企業の方は本来の仕事に専念出来ます。

◎左の写真は高圧洗浄機を使用してダンベと呼ばれるプラスチック製の箱を洗浄しているところです。規則を守り安全第一で行っています。

(知的障害 男性)

『上手くコミュニケーション取れるかな？』

『誰に相談すれば良いのかな？』

- ・ジョブコーチは本人と現場の方とのコミュニケーションの橋渡しをして、現場での良好な関係作りをサポートします。例えば、昼休みの過ごし方は人間関係のつまずきの原因にもなります。必要な場合は対象者と職場に合わせ、休憩時間の過ごし方を考え、助言します。
- ・電車やバスの利用など、職場までの通勤支援も必要に応じて行い、一人で通勤できるよう、支援します。

◎右の写真は朝のラジオ体操の様子です。

(知的障害 14名 精神障害 4名 身体障害 3名)



※詳しくは当センター（下記の発行元）までお問合せ下さい。

または、千葉障害者職業センターのホームページをご確認下さい。

(http://www.jeed.or.jp/jeed/location/chiiki/12_chiba.html)

【発行元から】

ジョブコーチに関して等のご不明な点や具体的な活用方法などは、お気軽にお問い合わせください。また、当センターでは障害のある方の、企業での職場実習を行っていただける事業所、企業を募集しております。

発行元&お問合せ

社会福祉法人 ロザリオの聖母会

東総障害者就業・生活支援センター

〒289-2513 千葉県旭市野中3825

TEL/0479-60-0211 FAX/0479-60-0212

E-mail/toso-s@rosario.jp